

令和2年12月12日

言葉の処方箋 病気は人生の夏休み 樋野 興夫 P26

03 困っているときこそ 笑う

うれしいから笑うんじゃない。笑うからうれしくなるのです。

悲しいから泣くんじゃない。泣くから悲しくなるのです。

それが人間というものです。

どんな厳しい境遇にもかかわらず笑う。すると不思議と楽しい気分になってきます。

いつも不機嫌な顔をしていたり、不平不満を言っているような人のところへは人は寄ってきません。

逆に死を間近に控えていたとしても、明るく、温かい顔をしていたら、「あの人のところだったら毎日にでもお見舞いに行きたい」と人が集まります。

「人生いばらの道にもかかわらず宴会」

うれしいから笑うんじゃない。笑うからうれしくなる。

困っているときにこそ笑顔です。

あなたのほほ笑みが周りの人たちを温かい気持ちにさせます。

岡倉天心記念がん哲学・巣鴨カフェ「桜」

代表 山本 ひろみ

gantetu_sakura@yahoo.co.jp

090-8501-0826

<https://sugamo-sakura.com/>

後援：一般社団法人がん哲学外来

<http://www.gantetsugaku.org/>



Warmest greetings

and

best wishes for the new year.・・*

昨年もつくりましたが、今年は、幸運を運ぶ天使の羽根を使って飾りをつくりました。手作りなので、一つ一つ色や形が違いますが、並べると一つのツリーになります。

「個性と多様性」 カフェのようなツリー。その中のひとつをもしよろしかったら、お持ち帰りください。



今年はコロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた年でした。その中、足を運んで下さった皆様、来ることはできないけれど、SNS やお手紙などを通して、応援して下さった皆様、たくさんの個性に支えられ、今年最後のカフェを迎えることができました。支えて下さった皆様に感謝申し上げます。

本日はお越しいただき、ありがとうございました。

来年は、1月9日(土) 無理のない範囲でのご参加をお待ちしております。皆様どうかご自愛の上お過ごしください。